

1班（環境）

目指す姿（キャッチフレーズ）

最先端のアナログ都市～自然環境に対して100歩先をいく長野県～

視点

- ・自分がずっと住むとしたらどんな長野県がいいか？
- ・長野県から外へ出て行きたくなる理由は？

現状・課題・強み・弱み等

1 景観

- ・無駄な道路舗装が多い。
- ・国道沿いの景観が悪い。
- ・松本駅周辺、市街地の景観が悪い。
- ・きれいな自然の景観は強み

2 エネルギー

- ・上高地の車・バスの排気ガスが気になる。
- ・原子力発電所の問題
- ・太陽光発電

3 自然環境

- ・畑・田んぼの減少（農業をする人がいなくなる。）
- ・団地の増加
- ・水をはる面積が減ると気温が上がる。
- ・中国人富裕層による山の買占め
- ・スキー場、ゴルフ場が多いが、利用者が減少している。

課題の解決策・強みを活かした取組等

1 景観

便利さを追求すると景観が悪くなる。
⇒長野県らしさがなくなる。
しかし、若者はどんどん都会に出て行く。
⇒農業の跡継ぎがいなくなる。

自然がきれいなところは開発しないで守る。
発展させるところはしっかりと発展させ、メリハリをつける！

2 エネルギー

(1)電気自動車の普及

- ・公共のバスやタクシーでの導入
- ・充電箇所の設置

(2)公共交通機関の充実

- ・電車、バスの本数を増やす。

公共のバスやタクシーを電気自動車にして空気をきれいに！
太陽光発電を公共施設から普及させる！
各家庭への設置も援助する！

3 自然環境

- ・土地の有効な利用の仕方を考える。
⇒学校が田んぼを買う。
- ・収穫体験などで農業の良さをアピールする。（長野県の強み）

使われていない畑や田んぼを有効活用！
収穫体験などで農業の良さをアピールし、農業を始める若者を増やす！